

# 東日本大震災津波伝承館 いわてTsunamiメモリアル



東日本大震災津波伝承館  
副館長 藤澤 修



2010年3月 被災前



2011年3月29日 被災後

2021年3月





「祈りの軸」

南北320m

東日本大震災津波伝承館

道の駅高田松原

「復興の軸」

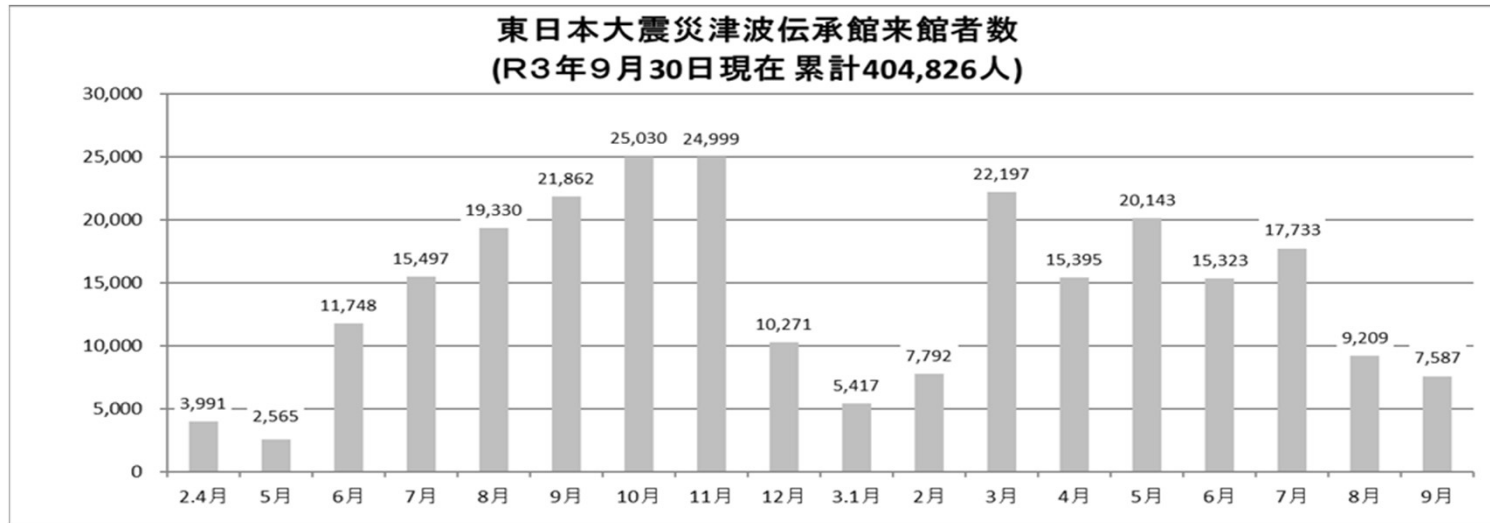
建物 東西160m

大型車左折

# 東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）

- ① 開館期日 令和元年9月22日  
RWC2019日本大会に合わせ開館
- ② 場 所 岩手県陸前高田市
- ③ 運営形態 岩手県直営
- ④ 館 長 岩手県知事
- ⑤ 特 徴
  - ・ 東日本大震災津波の震災津波伝承施設
  - ・ 東北大学・岩手大学の学術面のバックアップ
  - ・ 海外津波博物館と交流・連携
  - ・ 教員、解説員（多言語対応）の多職種連携
  - ・ 入館料、団体解説無料（要予約）





○ 令和3年度 月別来館者数と平均来館者数 単位：人、日

|                       | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月    | 9月    | 計      |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 来館者数(A)               | 15,395 | 20,143 | 15,323 | 17,733 | 9,209 | 7,587 | 85,390 |
| 開館日数(B)               | 30     | 31     | 30     | 31     | 12    | 13    | 147    |
| 1日当たりの平均<br>来館者数(A/B) | 513    | 650    | 511    | 572    | 767   | 584   | 581    |

※1) 令和3年度の最多来館者数：2,605人(令和3年5月3日(月・祝))

2) 令和3年8月13日(金)～9月17日(金)は「岩手緊急事態宣言」の発令に伴い休館

展示テーマ

# 『命を守り、海と大地と共に生きる』

～ 二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために ～





# 過去30日間に世界で発生した地震

과거 30일간 전세계적으로 발생한 지진

2020 / 12. 06 - 2021 / 01. 04



出典 / Source : U.S. Geological Survey (USGS)

マグニチュード [Mw] 3 4 5 6 7 8 9  
매그니튜드







3月12日  
March 12

3月13日  
March 13

3月14～18日  
March 14～18

3月19日～8月11日  
March 19～August 11

震災津波後5年間(2011年8月～)  
Five years after the earthquake and tsunami (From August 2011)

3月12日

被災した人・まち  
懸命の救命救助活動

東北交通東北地方整備局  
道路供出の備前線一開始  
在りては、道路供出の備前線一開始



## 津波から助かる唯一の方法 →避難（時間との戦い）

東日本大震災津波での、災害関連死を含む死者数は、1万9,689名※。

その大半が津波による犠牲者です。

津波から命を守るためにとるべき行動、それは“迅速な避難”、  
この一言に尽きます。

ここでは、2011年（平成23年）3月11日、津波襲来のその時、  
人々はどう行動したのかを振り返り、生きるために“逃げる”こと  
の重要性を心に刻むとともに、私たち一人ひとりが“逃げる”には  
何が必要かを考えます。

※出典：消防庁「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第159報)」2019.3.8

逃げられるのになぜ逃げないのか？

Why didn't people evacuate, even though they could?

明明可以逃脫，为什么不逃？

明明逃得了卻沒逃跑的原因是？

달아날 수 있는데 왜 달아나지 않는가?



津波から生き延びるためには、まず“逃げる”こと。

しかし、この“逃げる”ことはとても難しいことなのです。

逃げられる状況であるのに、逃げない人がとても多くいるのです。  
私たちは誰もが、異常事態や危険な状況に巻き込まれたくない、  
と思っています。そのため、いざ非常事態になった時、その危険  
性を低く見積もることで不快さをなくそうとするのです。これを  
心理学では「正常化の偏見」と呼びます。根拠もなく「自分だけ  
は大丈夫」とってしまう心の動きです。

そしてこれこそが、災害時の避難行動を遅らせる大きな要因です。

「正常化の偏見」を取り去る方法はないといわれます。

しかし、まず、この「正常化の偏見」があることを意識し、自分の  
置かれている状況を自ら判断し、津波から命を守る行動をとる  
ことが何よりも重要です。

## 「津波てんでんこ」

てんでんばらばらに一目散に高台に逃げる  
自分の身は自分で守る、考えて行動することで、  
犠牲者を出さないことに繋がる

# 「てんでんこ」からはじめる 自分の命は自分で守る。

Start with "Tendenko"  
Protecting my life myself.

从“自顾自 (Tendenko)”做起  
做好自救求生。

從「每個人 (Tendenko)」開始  
自己的生命自己守護。

"텐덴코"부터 시작한다  
자신의 생명을 자신이 지킨다.

3-4-B

伝えられてきた「てんでんこ」の教え

「てんでんこ」とは「それぞれに」「各自で」という意味の方言です。

岩手県の三陸沿岸には、「津波のときはてんでんこ」という教えがあります。それは「津波が来たら、周りを気にせず、てんでんばらばらに、それぞれで逃げなさい」ということです。

昔から人々は子どもや孫が津波から逃げ遅れることのないように「津波のときはてんでんこ」「命はてんでんこ」と、くり返し言い聞かせてきました。「命を守るために何がなんでも逃げろ」「必ず生き残れ」という強い思いが込められています。

津波により多くの人々が犠牲になるという悲劇がくり返される中から生まれた、命を守るための教え、それが「てんでんこ」なのです。

The teachings of the idiom "tendenko" that has been handed down through generations

"Tendenko" is a local dialect phrase that means "each person" or "on your own". Along the Sanriku coast in Iwate Prefecture, there is a teaching to escape without minding others; run for your own survival.

Since the past...

命を守るために  
To protect one's life

自分のことを守る  
To protect oneself

みんなのことを考える  
To think about others

正しく行動する  
To act correctly

自分のことを知る  
Get to know about myself

自分の課題は？  
What's my personal issue?

自分の課題は？  
What's my personal issue?

自分  
Myself

みんなのことを考える  
Think about other people

ダイバーシティ  
Diversity



## 児童・生徒の学校見学積極的に受入

幼少から防災意識を持つことで、  
地域の防災力向上に繋がる  
(日頃からの備え、訓練の重要性が教訓)



## 【課題・方向性】

- **伝承館をゲートウェイに地域への人の流れ**をつくる
  - ・ 地元の飲食店、観光施設、震災遺構（パークガイド）
  - ・ 岩手県内の観光資源
- **被災3県の伝承施設との交流・連携の強化**
- **防災教育・復興学習**への取組支援⇒ **地域の防災力の強化**
  - ・ 自然災害は全国どこにでも起きる時代
  - ・ 未来への備えが大事



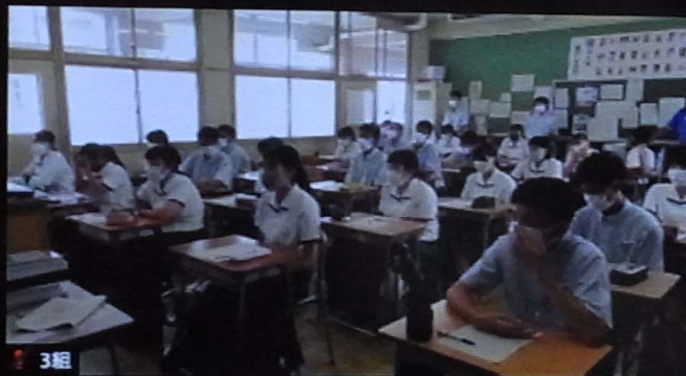
AQUOS

① 録画... || ■

ビデオ以外の参加者の合計: 10

スピーカービュー 全画面表示の終了

# コロナ対応：オンライン見学&授業



ミュート ビデオの停止

セキュリティ

参加者 16

チャット 7

画面を共有

録音を一時的に停止/停止

反応

退出

SHARP



皆様のご来館をお待ちしています

防潮堤から広田湾を望む



高田松原海水浴場

